

会 議 録

会 議 名	第 1 回東浦駅周辺整備方針検討会	
開 催 日 時	平成 29 年 6 月 25 日（日） 午前 10 時から正午まで	
開 催 場 所	藤江コミュニティセンター 会議室	
出 席 者	住民 （公募）	参加者 11 名
	事務局	東浦町 都市計画課長 棚瀬、課長補佐兼都市計画 係長 榊原、主査 竹内、技師 村中 （株）パスコ 近藤、亀垣（ファシリテーター）、額谷
議 題 （公開又は非公開の別）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東浦駅周辺基本構想について ・ 将来実現に向けたアンケート調査について 	
傍聴者の数	0 名	
議 論 内 容 （ 概 要 ）	議題の議論内容については、別紙のとおり	
備 考		

【 1 . 開会】

事務局： 皆さん、こんにちは。建設部 都市計画課長の棚瀬でございます。本日は、大変お忙しい中、ご参加いただき、誠にありがとうございます。ご案内いたしました時間となりましたので、只今から第1回東浦駅周辺整備方針検討会を始めさせていただきます。本検討会の会議録につきまして、個人情報にかかる部分や発言者名は非公開として、東浦町ホームページで公開いたしますことを、ご了承くださいますようお願いいたします。本日の検討会は12時を目途にご議論いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。また、本検討会の録音及び会議風景の写真撮影を行いますのであらかじめご了承ください。なお、本日知多メディアスが検討会風景を撮影させていただきたいという依頼がありましたので、併せてご了承ください。それでは、資料の確認をさせていただきます。

（配付資料の確認）

では、次第に沿って進行させていただきます。まず、スタッフの紹介をさせていただきます。

（事務局の紹介）

「次第1-(2)検討会の目的、全体スケジュールについて」及び「次第1-(3)本日のプログラム、進め方について」の説明をします。

（資料について説明）

【 2 . 東浦駅周辺基本構想について】

事務局： 続きまして、2.東浦駅周辺基本構想についてです。まず、2-(1)これまでの経緯について、事務局より説明させていただきます。

（これまでの経緯について説明）

事務局： 次に、2-(2)基本構想について、事務局の竹内より説明させていただきます。

（基本構想について説明）

事務局： では、皆さまでご討議を行っていただきたいと思っております。テーマは基本構想案についてです。時間は今から35分間程度で、11時5分までとします。各グループリーダーの進行で行ってください。ご討議の内容は、基本構想案の各機能について、必要なもの、あるいは必要でないもの等、ご検討いただきます。最後に意見のまとめを各グループ代表から発表してもらいたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

Aグループ

住 民： 駅周辺に土地を所有している。今回の目的は何か。空地进行を開発したいだけなのか。仮にそうなら、周辺地区が荒んでしまうのでは。

事務局： 予定地区に何を建てるか等は、まだ何も決まっていない。ただ開発したいわけではない。方針検討会なので、住民の皆様と一緒に方向性を決めていきたい。

住 民： 国道366号は通過するだけで、どこかに立ち寄るといった感じではない。商業施設を考えた場合、集客は期待出来ない(半田クラシティの様に)。わざわざイオン東浦に行く

のではなく、東浦駅周辺で用を済ませたい。

住 民： 近くを通る計画道路はありますか。

事 務 局： ほぼ決定されている都市計画道路があります。

住 民： 現状の施設を更新する事で、不便になる様な事はあってはならない。

住 民： 跨線橋を無くし、JRを高架にすれば不便さは解消されるので、JRに話をすることはしていますか。また、それは可能ですか。

事 務 局： これまではしていません。計画がある程度具体的になってから、JRと話したいと考えています。

住 民： 駅周辺を整備イコール高齢者に親切なまちでは無いと思うので、慎重に進めて欲しい。

住 民： 整備の進め方として、まずは西側を整備して、その後東側を整備しても良いのではないか。

事 務 局： そういった意見を遠慮なく積極的に出していただきたい。

住 民： 予定地図の緑の地域は、既に様々な建物が混在しているが、移動してもらう建物も出てくるのですか。

事 務 局： 現状の建物は移動せずに維持する考えです。

住 民： 駐車場の考えは。

事 務 局： 現状の駐車場で足りているのか、足りなければ新設しなければならない。

事 務 局： キス&ライドが出来るよう、送迎用の駐車場の確保も必要ではないか。

Bグループ

住 民： 突然この基本計画図を見て議論するのは、難しい。

皆で簡単な自己紹介。

他の方も早めに基本計画図を見たかったという意見が多かった。

事 務 局： 基本計画図(案)への意見をききたいと思い提示しました。

住 民： 2030年には、空き家が3割を超えて、隣2件でどちらかの隣は空き家になってしまう計算になる。そのような状況で駅東側の利用には疑問がある。

住 民： 東浦町は、名古屋のベッドタウンとしてのニーズがある。駅周辺で両サイドが活用されていないのはもったいない。他の駅はほとんどが活用されている。よって、駅東側の利用は必要だと考える。低層住宅はNGだと考える。津波被害よりも浸水対策を考えるべきである。旧紡績工場の活用も必要と考える。

住 民： 旧紡績工場は、文化遺産のハードルは高く困難だと考える。部分的に活用して、商業施設としての活用が考えられ、独自のものとすべきだと考える。低層住宅はNGだと考えるが、高層住宅も田んぼの中にできると景観として、稜線を犯すのでNG。対象区域をもっと広くしたい。生路の集落も含めて何が必要か考えなければいけない。JR駅西側への避難をずるとしてはいたが、道路が狭すぎて難しい。

住 民： まずは計画を町で提案を示してほしい。それを見て考えたい。浸水に関しては心配である。

住 民： 旧紡績工場の活用が重要となると考える。

- 住 民： 個人的には、田舎の田園風景が好き。JRも連絡通路でなく、踏切で渡れる方が、魅力があると思える。ただし、道路は拡幅して安全を確保したい。
- 住 民： 同感です。弘法道などをぶら歩きすることが大切である。都市を求めているのではない。田園の農村風景を楽しめるようにするべきである。
- 住 民： JRを高架にするべきである。過去には、刈谷への橋の構想もあった。
- 住 民： 東浦の他のJRの駅に比べると西に住宅があるので、JRにも提案してほしい。
- 住 民： 駐車場のニーズがあるのでは？ただし、東浦駅に駐車するのであれば、大府駅に行ってしまう人が多いと考える。
- 住 民： 東浦らしい風景が大切である。例えば、桜見台の北端では、明德寺川の風景がよくて、即決して宅地を購入した人がいると聞いた。
- 住 民： 都会化でない計画をすべきである。
- 住 民： 駅周辺で新たにつくるのであれば、近代的なものがよい。
- 住 民： 国道366号バイパス沿いは、今でも法的には建築が可能である。ただし、道路行政上、乗入の規制が厳しくて、ニーズはあるが建築できない。
- 住 民： 高齢化が進むため、駅近くに徒歩で行ける商業、住宅、病院、福祉が集まったものがよい。
- 住 民： 道路を広げることは、最近の傾向ではない。旧市街を活性化させて、リノベーションまちづくりみたいなことがいい。
- 住 民： コノミヤ部分の交通が危ない。
- 住 民： 渡船場の活用を。高浜では嫁入の再現のようなイベントが行われている。観光資源の活用を。
- 住 民： 町だけでなく、広域的に考えるべき。もっと専門家を入れて、時間をかけて行うべき。

【3. 休憩】

【4. 将来実現へ向けたアンケート調査について】

事務局： アンケート調査の案について説明します。

(アンケート調査案について説明)

事務局： アンケート調査に関しては、この住民に対するアンケートの他に、新規土地利用ゾーンの土地所有者についても行う予定です。では、アンケート案についてご討議をお願いします。

Aグループ

- ・問4の選択肢に「5.エレベーター等のバリアフリー対応が充実している」とあるが、誤解の無いように、「エレベーターはあるが、バリアフリーが充実しているか」としてはどうか。
- ・問8の選択肢の中に、バスの充実を入れたい。
- ・問7の整備方針がされた上での問8がある。
- ・問9の選択肢の中に、防犯性の機能を入れたい。

- ・問 11～13 は整備するという誘導が強いのでは。

B グループ

- ・対象を東浦全域にすべきである。
- ・利用者という考えが必要である。
- ・問の順番をもう少し考えた方がよい。
- ・利用頻度の設問を追加すべきである。
- ・タイトルや前段の表現が固い。もっと意見が実現されるようなイメージで行った方がよい。はじめに、どうしたいかの方針をきいた方がよい。
- ・同様に町全域にアンケート調査をすべきである。
- ・不足しているものをきいた方がよい。アクセスだけでなく用途に関しても。

【5．意見交換の結果発表・まとめ】

事務局： では、発表をお願いいたします。まずはAグループをお願いいたします。

Aグループ： 駅周辺の将来像は、まずは東浦駅の西側の活性化です。活性化のために JR を高架にしてほしい。渡船場の踏切を残すか、JR を高架にしてほしい。東側に改札を設置してほしい。

駅周辺の交通結節機能は、西側ロータリーが狭い。広くて安全なロータリーが欲しい。送迎のための一時駐車スペースが欲しい。

駅等へのアクセス機能は、乗客の増加につながる駐車場の充実が必要です。愛知環状鉄道が新聞で取り上げられていました。駐車場が足りないほどで、駐車場の充実が乗客の確保につながるのとことでした。皆さんは JR 武豊線の運行本数が少ないといいますが、1 時間に 2 本、30 分間隔での運行はローカル線としては多い方です。利用客を増やすためには駐車場を増やした方が良くと思います。道路、歩道の充実が必要です。

駅機能としては、窓口を設置して特急券などが購入できるといい。今は半田や大府へ行かないと購入できない。係員は再任用の方で行うといい。

居住機能は、建物を高層化して防災対策を行う。避難しなくてもその場が避難場所となることがいいと思います。西側の空き地に住宅を設けて、人口減少対策とする。他の地域の人口減少とならない住宅開発がいい。

居住支援機能として、駅の東側に病院を集める。現在も駅の周りに医院が結構ある。保育施設を駅の周りに設置する。大型のスーパーより小規模でサービスの良い店舗がいい。

集客・交流機能として、駅とコンビニの融合。第三セクターの鉄道などで、おそばを売りながら、切符も売るなどしているところもある。駅周辺に高齢者が増えれば高齢者福祉施設が必要である。商業施設をつくった場合、採算がとれるか。

藤江線の活用機能は、藤江線の道路幅を広げて欲しい。高架道路完成後の現在の道路は、歩道として活かしてほしい。歩行者が利用しやすい道路にして欲しい。

防災機能は、東西の自由通路ができた場合、それが避難場所になるといい。

その他で、総合学習等で小学生、中学生、高校生にも意見を聞く機会が有るといい。

アンケートについては、問4において、現在エレベーターがあることから「エレベーターはあるが」と明記した方がいい。問8において、東側に改札が設置されていない場合と、設置されている場合を想定した設問とするといい。問8の選択肢にバスの充実を追加した方がいい。

以上です。

事務局： ありがとうございます。では、Bグループお願いいたします。

Bグループ： Bグループは両極端な意見が出ました。一つは、今あるまちの議論を行った上で、不足するものの整備を行う。2030年になると空き家が3割になると予測されています。3件に1件は空き家になり、自分の家を中心にして、両隣のどちらかが空き家となる計算です。今主流のまちづくりは、空き家を再構成した時にそのまちがどうなっていくかを考える。このことを考えると、今のエリアでは物足りない。生路神社の周辺や弘法道の周りも入れた方がいい。エリアに旧市街地を入れた方が現実的であるとの意見がありました。もしできるのならば、コンパクトシティの領域も広げられないかと思えます。もう一つは、中高層のマンションを建てて、居住者を増やし、その人たちが利用する病院や商業施設を併設させる。また大学を誘致したいとの意見もありました。このように両極端な考えがありました。その中で大きな議論となったのは避難の問題です。津波の浸水区域であり、また江戸時代に干拓された土地があることから液状化の危険がある。木造2階建ての建物では危険であり、このような建物による開発はありえない。したがって、中高層のマンションが良いとの結論です。避難する時に狭い道路を通らなければならない、またその周りには、耐震性が高いとは思われない建物が建っている。西に避難することは難しいと考えられます。そこで道を拡幅したり、中高層のマンションと契約してその屋上を一時避難場所にする必要があります。藤江線の整備のみで鉄道による分断がどの程度解消されるかは疑問であるとの意見がありました。鉄道高架の話はありましたが、駅東側に駅の出入り口を設置することが、第一であるとの意見です。

東浦にしかない価値を求めていかなければならない。そうしないと東浦が選ばれない。例えば東浦にしかない価値としては弘法道かもしれないし、藤江越の跡かもしれないし、生路神社の周りの明治時代の建物かもしれないし、農村風景かもしれない。そのようなものの価値、ここでしか味わえない価値みたいなものを開発地域に含めてまちづくりを行うことが、最後まで住んでもらえるまちを実現するための非常に重要なことではないかということでした。

誘致したいものは商業系の施設、住宅としては中高層の建物で、その下階には福祉施設や病院、子育て支援の施設などを入れていきたい。駅に駐車場を整備すると利用率が高まるとの話もありましたが、車で駅に行くのであれば大府駅に行くのではないかと考えられます。

駅の東側は、駅前広場をつくるにしてもそこは旧紡績工場の土地であり、駅の東側の多くの部分をこの工場が占めています。2~3週間前にBSの放送で近代文化遺産のような番組があり、そこでこの工場の建物が取り上げられていました。その報道により映画のロケ地としての問い合わせがあったそうです。ここに住んでいる人にとっては何かあるな、程

度の認識ですが、他土地の人から見ると価値のある文化遺産であります。したがって、開発するにしても、周辺にある女子寮、家族寮、講堂など価値のあるものを活かした開発が必要です。

アンケートについては、生路、藤江のみでなく東浦町全域で考えた方がいいという意見と、住んでいる方に集中的に行った方がいいとの意見の両方がありました。また、アンケートの文章等が固い表現で、アンケートに協力したい気持ちが起きないのではないかと思います。このアンケートにより自分の意見が活かされる等が感じられるようなアンケートがいい。

事務局： ありがとうございます。では最後にファシリテーターより本日のまとめをお願いします。

事務局： 第1回目ということで皆さんの意見が白熱して時間が無くなってきました。各グループのご意見内容に関しては、細かく精査させていただき計画づくりに活かしていきます。両グループのご検討の内容で大きなところをまとめたいと思います。一つ目は既存のまちを大切にしようのご意見がありました。既存のまちづくりを大切にしながら、新しいまちづくりを行っていく、この考えを念頭に置きながら計画を行っていく。二つ目は防災について。計画区域には津波浸水想定区域が含まれていることもあり、災害に強いまちづくりを行っていくことが重要であるのご意見でした。三つ目は計画区域の中にある工場が、文化遺産としての価値のあるものである。この工場が計画区域の比較的大きな面積を占めていることもあり、この工場がこの区域のまちづくりにおいて一つの大きなカギとなるとのことでした。ご意見の中にあつた特徴のあるまちづくりにおいて、この工場が大きなウエイトを占めると思います。また、この他にもある特徴のあるものを活かした計画づくりが大切であるのご意見でした。

アンケートについては、皆様のご意見を参考に修正を加えます。今日のご意見の中で、町全体に対するアンケートが必要でないかとの提案がありました。計画区域のある、生路、藤江の方には、皆さんの意見を取り入れたものを全戸に対してアンケートを行います。では、町全体に対するアンケートについてのご意見をお伺いしたいと思います。

住民： 町の南にある東浦駅なので、北の方の住民はあまり関心がないと思います。アンケートの件とは別に、東浦駅について現在計画を行っていることを知らない町民の方が多いと思われることから、このことについては、何らかの方法で周知する必要があると思います。

住民： 東浦駅の整備計画が出できたのは、「コンパクトなまちづくり計画」からである。この計画は町全域でご検討して行ったものであります。このことから町全域での計画であることから、町全域でのアンケートが必要であると思います。

事務局： 今日皆さんのご意見を受けて、回収率は低くなると思いますが、町全域に対して無作為抽出によるアンケート調査を行います。

事務局： お時間となりました。本日は、皆さんからの活発な意見をありがとうございました。次回の第2回検討会については、生路、藤江地区のみでなく、町全体の調査もアンケート調査も行い、9月下旬から10月の土曜日又は日曜日を予定しております。また、

別途案内通知をさせていただきます。少し時間が空きますので、今回の意見交換と昨年度の基本構想及び基本構想図により、意見をご検討しておいていただけるとありがたいです。

以上で本日の検討会を終了します。ご協力ありがとうございました。

以上